

担当に石井さんが加入 スマイル・サポーターズ



スポーツボランティア「スマイル・サポーターズ」を運営するさっぽろグローバルスポーツコミッションが新事務所を札幌市中央区北2西1 OREビル9階に移転しました。スタッフに新しく石井貴大さん=写真=が加わり、中江明稀さん(旧姓・細田さん)ととも

にスマイル・サポーターズを担当します。

石井さんは豊平区役所保健福祉課からの異動。スポーツ部門の仕事は初めてですが、学生時代は野球とアイスホッケーに打ち込んだスポーツマン。「スマイル・サポーターズのみなさんとお会いできるのを楽しみにしています」と意欲を見せています。

コロナで活動は当面休止

グローバルスポーツコミッションはこの春から、公益財団法人札幌国際プラザから一般財団法人札幌市スポーツ協会に所属事務局が移り、スポーツ団体との関係をより密にした活動を目指すことになりました。しかし新型コロナウイルス感染症の影響で、スポーツボランティアの紹介活動、スマイル・サポーターズ登録をいずれも休止しています。またスポーツ情報誌『ウイズ スマイル』はスポーツイベントの中止や自粛が続いている期間中は休刊をしています。

今野健一事務局長は「2016年の旗揚げ以来初の異常事態ですが、なによりスマイル・サポーターズのみなさんの安全が最優先。状況をしっかり見極めて、感染防止の体制を考えていくなかで、活動再開の道を探っていきます」と話しています。

寄付のお願い

認定NPO法人ランナーズサポート北海道では、北海道のランニング文化の健全な発展やスポーツボランティアの拡充のために、企業・団体・個人からの寄付を募っています。2013年7月に認定NPO法人となったことで、税制上の優遇措置が受けられるようになりました。寄付をしていただいた個人は所得税と住民税、法人は法人税が減額され、納めた税金の一部が戻って来ます。いずれも当NPO法人の発行する領収書を所轄の税務署に提出して申告することが必要です。クレジットカードによる寄付もできます。

詳しくはランナーズサポート北海道ホームページ

<https://runsupport-h.org>の「寄付のお願い」の項目をご覧ください。

きれいな舗装路面に 五輪マラソンコース



東京2020オリンピックのマラソン・競歩競技でコースに予定されている札幌市内の道道、市道などで、道路の舗装補修工事が進められています=写真=。

マラソンの予定ルートは大通公園をスタートしてすすきの、幌平橋、平岸街道、石狩街道、北24条、北大構内を回り大通公園に戻る周回路を変則で3周します。今年8月に予定されていたオリンピック・パラリンピックは2021年に延期されましたが、予算などの関係もあり今年春からの工事開始となりました。

車道のアスファルト舗装を4cmほどはがし、新たに舗装を直す「オーバーレイ工事」で、まず北区の北海道武蔵女子短大付近の新川通から始まり、北大構内、中島公園の東側、札幌駅前通りなどが、真新しい路面に生まれ変わっています。

平らに整備された黒いアスファルト道路はいかにも走りやすそう。実際にオリンピックランナーが走るのは来年ですが、1年程度なら十分によい状態は持つそう。新型コロナウイルス感染症が世界中で今後どうなるかなど、オリンピック開催に向けてまだまだ不透明な要素がありますが、世界のトップランナーがこの素晴らしく整備された道路で最高のパフォーマンスを発揮してもらいたいですね。

★編集後記★

香港マラソンが中止を決めた一。そんなニュースが伝わったのは確か1月中旬。まだ新型コロナウイルスが遠い中国の出来事としか思えなかったころのことです。しかし事態は急展開。2月16日に京都マラソンと熊本マラソンが開かれてから、市民ランナーが出場できる国内のマラソン大会がすべて中止となってしまいました。まだ数カ月しか過ぎていませんが、とても長い時間が経過したような。けれどもまた笑顔で元気に暮らせる社会はきっとまた来る。そんな強い気持ちで前を向きたいと思います。(K)

北のスポボラを支援していただいた団体・企業

株式会社サッポロドラッグストア 一般財団法人 札幌市スポーツ協会 さっぽろグローバルスポーツコミッション
 NPO法人 日本市民スポーツ海外交流協会 北海道マラソン組織委員会 北海道ロードレース事務局
 創文企画「ランニングの世界」 西宮の沢バッティングパーク ピッチャーガエシ